平　成　30　年　度　　教　育　研　究　業　績　書

氏名　　横山　香

最終学歴	大阪大学大学院　言語文化研究科　博士後期課程　修了	
取得学位	博士（言語文化学）	
所属学会	日本独文学会、阪神ドイツ文学会、ゲルマニスティネンの会、大阪大学言語文化学会、日本マス・コミュニケーション学会、奈良大学史学会	
専門分野	ドイツ地域文化研究、教職キャリア研究	
研究課題	・ドイツにおける大衆文化の系譜：19世紀から現在まで ・教職キャリア形成の支援ツールの開発	
授業科目	学部担当科目	・ドイツ語基礎・表現・応用 ・表現技法 ・国際関係論 ・世界遺産学（1時間）
	大学院修士課程 担当科目 （博士前期課程含）	
	大学院博士後期課程 担当科目	
	通信教育部担当科目	・国際関係論
【研究上の特記事項】	・2019年2月15日～24日、現地調査および資料収集のためドイツに出張 ・本学との学術・学生交流の可能性を探るため、ヒルデスハイム応用科学美術大学を訪問し、保存修復学科のIna Birkenbeul教授および同科の学生と意見交流をおこなった（2019年2月19日） ・奈良教育大学 河﨑智恵教授他の科研費基盤研究（B)「共生的な教職キャリア形成を支援する高大接続キャリア教育の開発」（15H03500）への研究協力（ドイツ語翻訳、オーストリア現地調査（10月29日～11月4日）他）	
【教育上の特記事項】	・専門との接続を見据えた初年次教育の実践 ・FD事業への参画：公開授業の実施および参観 ・課外での教育支援（ドイツ語講読会・独検受験者勉強会） ・学生の語学留学のための奨学金申請支援（DAAD）	
【社会的活動】	・阪神ドイツ文学会機関誌『ドイツ文学論攷』編集委員　平成28年4月1日～ ・ゲルマニスティネンの会での広報担当および関西支部世話人 ・播磨地域での月2回の市民向けドイツ語講座を開催 ・奈良日独協会の活動への参加	
【学内活動】 （学内職歴を含む）	・歴史フォーラム委員会、紀要委員会 ・入試科目（小論文）の作成、オープンキャンパス（7月29日）における小論文入試対策説明会の実施	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書､学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
（著書） ① ② ③				
（学術論文） ①「戦後ドイツの大衆文化における“heile Welt”の表象と言説 ―Ludwig Ganghoferの小説と映画を事例として―」 ② ③	単著	2019年2月	奈良大学『奈良大学紀要』第46号	「無傷の世界」（“heile Welt”）ということばは前近代的な共同体での暮らしを彷彿とさせるが、実際にこのことばが用いられるようになったのは第二次世界大戦後である。その理由について、“heile Welt”を描く代表的な作家であるLudwig Ganghoferの作品を用いて考察した。
（学会発表） ①「ドイツにおける推理小説のテレビドラマ化―最近の作品を中心としたアダプテーションの事例研究―」 ②「「強い女」と／の女性性―日独刑事ドラマにおける女性の表象―」 ③	単著 単著	2018.9.26 2019.3.30	日本独文学会　第73回秋季研究発表会 於：名古屋大学 ゲルマニスティネンの会　2019年関西支部研究発表会	シンポジウム「ドイツ・ミステリを読む・観る―インターカルチュラリティとインターメディアリティの観点から」（Oliver Mayer・長澤崇雄・Stefan Buchenberger・横山香）において、現在流行しているドイツ人作家のアダプテーション作品について考察をおこなった。 メディア研究において「女性性」（femininity, Weiblichkeit）は複雑な問題である。日独の刑事ドラマを用い、女性警官というもっともフィクショナルともいえる世界で、自らの女性性と折り合いをつける女性の表象を通じて、女性性のあり方についての議論を批判的に考察した。
（その他） ① ② ③				